

翔南祭 開祭式に

皆さん、おはようございます。

いよいよ、翔南祭ですね。これまでの準備お疲れ様でした。特に、実行委員や生徒会の皆さん、係りの先生方を中心として、ここまで準備を進めてきた皆さん、ありがとうございます。

今年のテーマは、「竜南魂～この思い出は歴史となる～」です。

これは、とても良いテーマではないかと思います。

「思い出」とは何でしょうか。

それは、個人個人が、自分の過去に対して、心の中に抱く思いです。

では、「歴史」とは何か。

それは、皆が、過去の事柄に対して共有する記憶です。

あのとき私はこんなことしたなあというのは、「思い出」ですし、自分のことではなくても、たとえば、1980年にはこんなことがあったと皆が思い出せるものが「歴史」です。

「思い出」と「歴史」を分かつものは、個人のものか、皆が共有するものかという違いが真っ先に来ると思います。

そういうわけで、文化祭を個人の「思い出」でなく、竜ヶ崎南高校の「歴史」とするためには、皆がひとつの事柄を共有しなければならない。つまり、自分だけで何かやってもダメで、皆で一緒に何かを作り上げる過程が重要になるということです。

「あのとき、こんなことやったな」と思い出す時に、「うん、やったな」と皆が思い出せるようであればならない。

そのために、皆が力を合わせて、翔南祭を作り上げることが必要です。

皆で、一緒に、翔南祭を作り上げ、精一杯楽しみましょう。

平成 29 年 10 月 20 日 県立竜ヶ崎南高等学校体育館にて

校長 塚本 敏雄